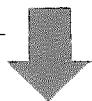


施工順序

1 門扉錠の取付け

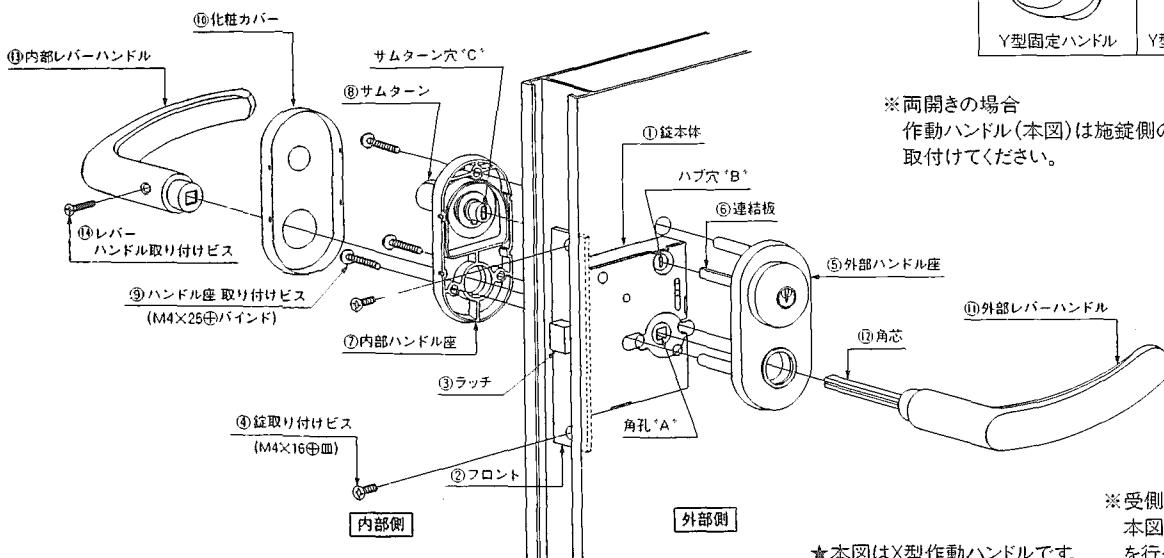
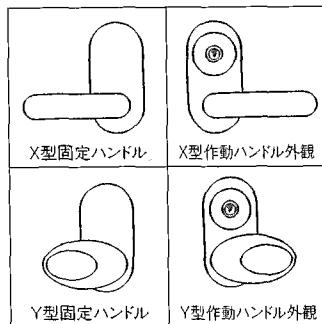
- 門扉の切り欠きに合わせて錠本体を取付け、錠取付けビス④にて取付けてください。
この時、WSTマークが上になるように注意してください。



2 化粧座の取付け

- 外部側より外部ハンドル座⑤を門扉形材の切り込み穴に挿入してください。
※この際、連結板⑥をハブ穴“B”に貫通させてください。
- 内部側より内部ハンドル座⑦をはめ込んでください。
※この際、ハブ穴“B”を貫通してきた連結板⑥をサムターン穴“C”に挿入し、ハンドル座取

- 付けビス⑨で仮止めを行い、内・外レバーハンドルを振り付けして作動を確認したのち締め付けしてください。そして、化粧カバー⑩をかぶせてください。
- 外部レバーハンドル⑪の角芯⑫を錠本体①の角穴“A”に通してはめ込んでください。反対側より、内部レバーハンドル⑬をはめ込み、レバーハンドル取付けビス⑭にて取付けてください。

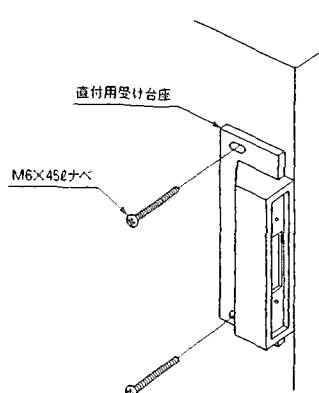


※両開きの場合
作動ハンドル(本図)は施錠側の扉に取付けてください。

★本図はX型作動ハンドルです。

※受側・固定ハンドルも本図に準じて取付けを行ってください。

■片開き直付用受け台座



- 錠の位置に合わせ、直付用受け台座をプラグボルトで壁に取付けてください。プラグボルト用孔径はφ11mmです。

※直付用受け台座とプラグボルトは、直付ヒンジセットに梱包してあります。

●プラグの施工法

